4.廃棄物試験研究センター

清掃工場, 埋立場などの環境保全のための法規制に関する試験業務及び清掃施設の適正な維持管理に必要な試験業務を行った. また, 試験結果を各施設へ速やかにフィードバックすることにより, 適正な維持管理の向上に努めている.

平成 22 年度に行った試験検査の検体数, 項目数は表 1 のとおりである.

表 1　平成 22 年度　廃棄物関係試験検査数

区　　分	検体数	延べ項目数
清掃工場・資源化センター		
ごみ	77	3,161
灰質		
焼却灰	253	1,016
集じん灰	20	160
水質		
下水放流水等	173	3,292
ボイラー水	341	2,329
排ガス	108	1,036
臭気	38	487
騒音・振動	12	300
粉じん・ダスト	190	288
アスベスト	94	282
ダイオキシン類調査※	344	2,570
埋立場		
水質	205	5,182
臭気	5	5
発生ガス	122	514
アスベスト	24	144
ダイオキシン類調査※	23	690
し尿中継所		
臭気	11	105
緑のリサイクルセンター		
剪定樹木の堆肥化調査	157	581
合計	2,197	22,142

※コプラナーPCB を含むダイオキシン類の他, 測定時の運転状況等を示す項目(一酸化炭素, SS 等)を含む.

1)清掃工場・資源化センター

(1) ごみ

南部, 西部及び臨海工場に搬入される可燃ごみの組成調査及び西部及び臨海工場に搬入される家庭系可燃ごみの組成調査を行った.

東部及び西部資源化センターに搬入される不燃性廃棄物及び同センターにて破砕選別された処理物について, 破砕処理物の組成, 組成別の重量･容量及び回収される鉄･アルミニウムの性状について調査した.

東部及び西部資源化センターに搬入される家庭系不燃性廃棄物の組成調査を行った.

(2) 灰質

工場の焼却灰及び集じん灰の試験検査を行った.

(3) 水質

工場のボイラーや排水処理装置の適正な維持管理に必要な水質検査を行った.

(4) 排ガス

工場の燃焼管理や排ガス処理装置の適正な維持管理のために排ガス調査を行った.

(5) 臭気･騒音･振動･粉じん･ダスト

敷地境界等における臭気, 騒音, 振動及び資源化センターの粉じん等の測定を行った.

(6) アスベスト

工場及び資源化センターの作業環境中のアスベストの調査を行った.

(7) ダイオキシン類調査

工場から排出される排ガスや排水等及び作業環境中のダイオキシン類調査を行った.

2)埋立場

(1) 水質

浸出水及び汚水処理場の維持管理に必要な水質検査を行った.

(2) 臭気

敷地境界における臭気の測定を行った.

(3) 発生ガス

安定化の指標となるメタンガスや二酸化炭素等の測定を行った.

(4) アスベスト

敷地境界及び作業場所においてアスベストの調査を行った.

(5) ダイオキシン類調査

供用中埋立場及び埋立終了埋立場からのダイオキシン類の汚染状況を把握するため, 埋立場周縁地下水のダイオキシン類調査を行った.

3)し尿中継所

(1) 臭気

敷地境界等における臭気の測定を行った.

4)緑のリサイクルセンター

(1) 剪定樹木の堆肥化調査

剪定樹木を有効活用するため, 平成 8 年から緑のリサイクルセンターで剪定樹木を破砕･堆肥化し, 土壌改良材として販売しており, 安定した品質を図るための性状調査を実施した.